



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2025年2月13日

上場会社名 株式会社アルファポリス 上場取引所 東
コード番号 9467 URL <https://www.alphapolis.co.jp/company/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 雄介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部本部長 (氏名) 大久保 明道 TEL 03-6277-0123
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	9,690	25.6	2,330	34.3	2,337	34.3	1,449	35.8
2024年3月期第3四半期	7,716	10.6	1,735	6.5	1,741	6.5	1,067	7.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	49.87	
2024年3月期第3四半期	36.73	

(注)1. 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	15,774	13,138	83.3
2024年3月期	13,946	11,689	83.8

(参考)自己資本 2025年3月期第3四半期 13,138百万円 2024年3月期 11,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				14.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日公表の「通期業績予想の修正(上方修正)及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い2025年3月期(予想)の1株当たり配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,100	26.8	3,090	36.0	3,100	36.0	1,920	36.8	66.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日公表の「通期業績予想の修正(上方修正)及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い2025年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益は198円21銭であります。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	29,062,200 株	2024年3月期	29,062,200 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	933 株	2024年3月期	810 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	29,061,378 株	2024年3月期3Q	29,061,390 株

(注) 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間（2024年4月1日から2024年12月31日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で緩やかな回復が続いているものの、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響等、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響が懸念される等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する出版業界におきましては、紙の出版物の市場は厳しい状況が続いているものの、一方で電子出版の市場は堅調な成長を続けております。公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所によると、2024年（1月から12月まで）の紙と電子を合算した推定販売金額は前年比1.5%減の1兆5,716億円となり、その内訳は、紙の出版物については同5.2%減の1兆56億円、電子出版については同5.8%増の5,660億円となっております。

こうした環境の中、インターネット発の出版の先駆者である当社は、「これまでのやり方や常識に全くとらわれず」、「良いもの面白いものが望まれるものを徹底的に追求していく」というミッションの下、インターネット時代の新しいエンターテインメントを創造することを目的とし、インターネット上で話題となっている小説・漫画等のコンテンツを書籍化する事業に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間における書籍のジャンル別の概況は以下の通りであります。

① ライトノベル

当第3四半期累計期間の刊行点数は262点（前年同期比10点増）となりました。11月にコミカライズ第1巻を刊行した『継母の心得』につきまして、一部の電子ストアで先行配信したコミックス分冊版が好評を博したことにより、主に電子書籍販売において原作である小説の売上が大幅に伸びました。また、2025年1月からアニメ放送を開始する『いずれ最強の錬金術師?』の最新巻17巻を刊行し、さらに既刊の増刷及び出荷を行ったことで同シリーズの売上が好調に推移いたしました。

結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を大幅に上回る着地となりました。

② 漫画

当第3四半期累計期間の刊行点数は147点（前年同期比13点増）となりました。各書籍の売れ行きにつきましては、レジーナCOMICSの新作『継母の心得』が、先行配信となる電子書籍分冊版において好評を博し、さらに11月に刊行した紙書籍の第1巻も4刷となる増刷及び出荷を行う等、好調なスタートを切ることができました。また、シリーズ累計720万部を突破した『ゲート』やアニメ化タイトルである『いずれ最強の錬金術師?』等の大型人気シリーズの続刊も引き続き好調に推移いたしました。

当ジャンルと親和性の高い電子書籍販売につきましては、電子取次及び各電子ストアと密なコミュニケーションをとり、きめ細かな拡販施策を実施したこと等により、全体的な売り伸ばしを図ることができました。

結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を大幅に上回る着地となりました。

③ 文庫

当第3四半期累計期間の刊行点数は142点（前年同期比6点増）となりました。「キャラ文芸」「歴史・時代小説」等、様々なジャンルで開催するWebコンテンツ大賞の受賞作の中から優秀な作品を複数刊行し、取り扱いジャンルの拡大を推進いたしました。また、厳しい紙書籍の市場環境の中で堅調に推移している児童書市場への参入を目的として、児童文庫レーベル「アルファポリスきずな文庫」から作品を複数刊行する等、児童書ジャンルの強化にも引き続き取り組んでまいりました。

結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を上回る金額で着地いたしました。

④ その他

当第3四半期累計期間の刊行点数は5点（前年同期比2点増）となりました。強化中の絵本ジャンルから、「第10回絵本・児童書大賞」において大賞を受賞した作家の新作絵本『だいぼうず』を刊行する等、引き続き特定ジャンルに依存しない幅広いジャンルにおける書籍刊行を積極的に実施してまいりました。

結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を上回る金額で着地いたしました。

以上の活動の結果、当第3四半期累計期間の売上高は9,690,876千円（前年同期比25.6%増）、営業利益は2,330,828千円（同34.3%増）、経常利益は2,337,768千円（同34.3%増）、四半期純利益は1,449,416千円（同35.8%増）となり、いずれも過去最高を大幅に更新いたしました。また、当第3四半期会計期間における売上高につきましても、第1四半期、第2四半期に続き四半期単位で過去最高を3四半期連続で更新しております。

（注）シリーズ累計部数：同作品の続編に加え、同作品の漫画及び文庫を含み、部数は電子書籍販売数を含む。

（2）当四半期の財政状態の概況

① 資産

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べ1,679,529千円増加し、14,965,962千円となりました。これは主に、現金及び預金が増加（前事業年度末比1,082,744千円増）したこと並びに売掛金が増加（同470,938千円増）したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ148,515千円増加し、808,509千円となりました。これは主に、投資その他の資産が増加（同164,056千円増）したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ355,287千円増加し、2,578,797千円となりました。これは主に、流動負債のその他が増加（前事業年度末比235,606千円増）したこと及び未払金が増加（同89,749千円増）したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ23,462千円増加し、57,363千円となりました。これは主に、長期借入金が増加（同25,847千円増）したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ1,449,293千円増加し、13,138,311千円となりました。これは主に、利益剰余金が増加（前事業年度末比1,449,416千円増）したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました数値を修正しております。

詳細につきましては、本日（2025年2月13日）公表いたしました「通期業績予想の修正（上方修正）及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,707,339	10,790,083
売掛金	2,971,515	3,442,454
製品	332,277	347,302
仕掛品	235,240	319,057
その他	40,060	67,064
流動資産合計	13,286,432	14,965,962
固定資産		
有形固定資産	74,414	66,703
無形固定資産	22,169	14,338
投資その他の資産	563,410	727,467
固定資産合計	659,994	808,509
資産合計	13,946,426	15,774,471
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,854	64,199
1年内返済予定の長期借入金	12,956	26,652
未払金	818,731	908,480
未払法人税等	421,213	474,468
賞与引当金	59,349	21,957
投稿インセンティブ引当金	25,626	30,774
返金負債	484,963	500,842
その他	315,814	551,420
流動負債合計	2,223,509	2,578,797
固定負債		
長期借入金	25,843	51,690
その他	8,057	5,673
固定負債合計	33,900	57,363
負債合計	2,257,409	2,636,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,824	863,824
資本剰余金	853,824	853,824
利益剰余金	9,972,005	11,421,422
自己株式	△637	△759
株主資本合計	11,689,017	13,138,311
純資産合計	11,689,017	13,138,311
負債純資産合計	13,946,426	15,774,471

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	7,716,507	9,690,876
売上原価	2,014,663	2,438,172
売上総利益	5,701,843	7,252,704
販売費及び一般管理費	3,965,924	4,921,876
営業利益	1,735,918	2,330,828
営業外収益		
受取利息	37	744
前払式支払手段失効益	4,750	5,787
その他	488	818
営業外収益合計	5,276	7,349
営業外費用		
支払利息	125	247
その他	—	161
営業外費用合計	125	409
経常利益	1,741,069	2,337,768
特別損失		
本社移転費用	19,274	—
特別損失合計	19,274	—
税引前四半期純利益	1,721,794	2,337,768
法人税等	654,282	888,352
四半期純利益	1,067,512	1,449,416

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社は、出版事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	19,123千円	24,951千円